

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「未来の子供たちのために」というミッションを果たすために、人財・環境、街づくり、安心・安全の4領域でシダックスらしいユニークな活動で社会課題解決を進め、社会貢献を推進する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 ☑ 社会 ☐ 経済	フードサービス事業	項目	食品ロス率の削減
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		3%削減	5%削減
☐ 環境 ☑ 社会 ☐ 経済	社会サービス事業	項目	SDGsカルタ導入現場数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		2現場	10現場
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	障害者の雇用促進、採用	項目	障害者雇用率
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		3.5%	5%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

私たちは、人と人との間にあるサービス企業として、社会をよりよくするために、人が関わるサービスを高度化し、最適化し、新しいソリューションを提案する企業を目指してまいります。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☐ 経済	フードサービス事業	食品ロス率の削減 2024年 3%削減 (2021年比)
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載) 2009年1食あたり80gの食品ロス(当社基準)があり2030年は1食あたり40gの目標としている。当初は大きく削減でき、目標は達成できたが、近年は緩やかな削減率になっている。現場人員定着率向上と並行して取り組む必要がある。	前期の指標に対する実績 2021年:57g/一食 2024年:55g/一食 3.5%削減
☐ 環境 ☑ 社会 ☐ 経済	社会サービス事業	SDGs17項目のカードをカルタにして遊びながら子どもの理解が少しでも深まるよう学習している。年度ごとに飽きが来ないように学習方法を変更する。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載) 現在2現場(学童保育)で導入し、目標は達成できたが、委託契約が伸び悩み本年度ようやく増えたので順次導入する。	前期の指標に対する実績 2現場で導入するも横ばいで推移
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	障害者の雇用促進、採用	障害者雇用率 2021年 3% 2023年 4.5%
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載) 法定雇用率は超えているものの目標には達しておらず、グループを横断して専門会社・部署にて取組中。定着に苦戦を強いられている。	前期の指標に対する実績 障害者雇用率3.5%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。